



# 2023年12月期 第1四半期 決算説明資料

---

2023年5月11日  
**富士ソフト** 株式会社



# 目次

---

## 2023年 12 月期 第 1 四半期 決算

P2. 連結業績ハイライト

P4. 主なグループ会社売上高・営業利益

P5. 連結セグメント別売上高・営業利益

P6. 連結損益計算書

P7. 連結貸借対照表

P8. 連結キャッシュ・フロー計算書

P9. 連結 S I 事業の受注高・受注残高

# 1.連結業績ハイライト

## 売上高はシステム構築分野の好調により増収

◇売上高は、業務系では製造業・金融業を中心に各分野向けの基幹系・インフラ構築案件等が好調に推移し、組込系では自動車関連の先進分野および、機械制御系の産業・家電分野向け開発案件が好調に推移した結果、前同比109.8%の75,631百万円となりました。

## 営業利益は人件費・経費増加はあったものの増収により増益

◇営業利益は、体制強化による人件費・採用経費等の増加があったものの、増収および生産性の改善などにより、前同比115.0%の5,855百万円となりました。

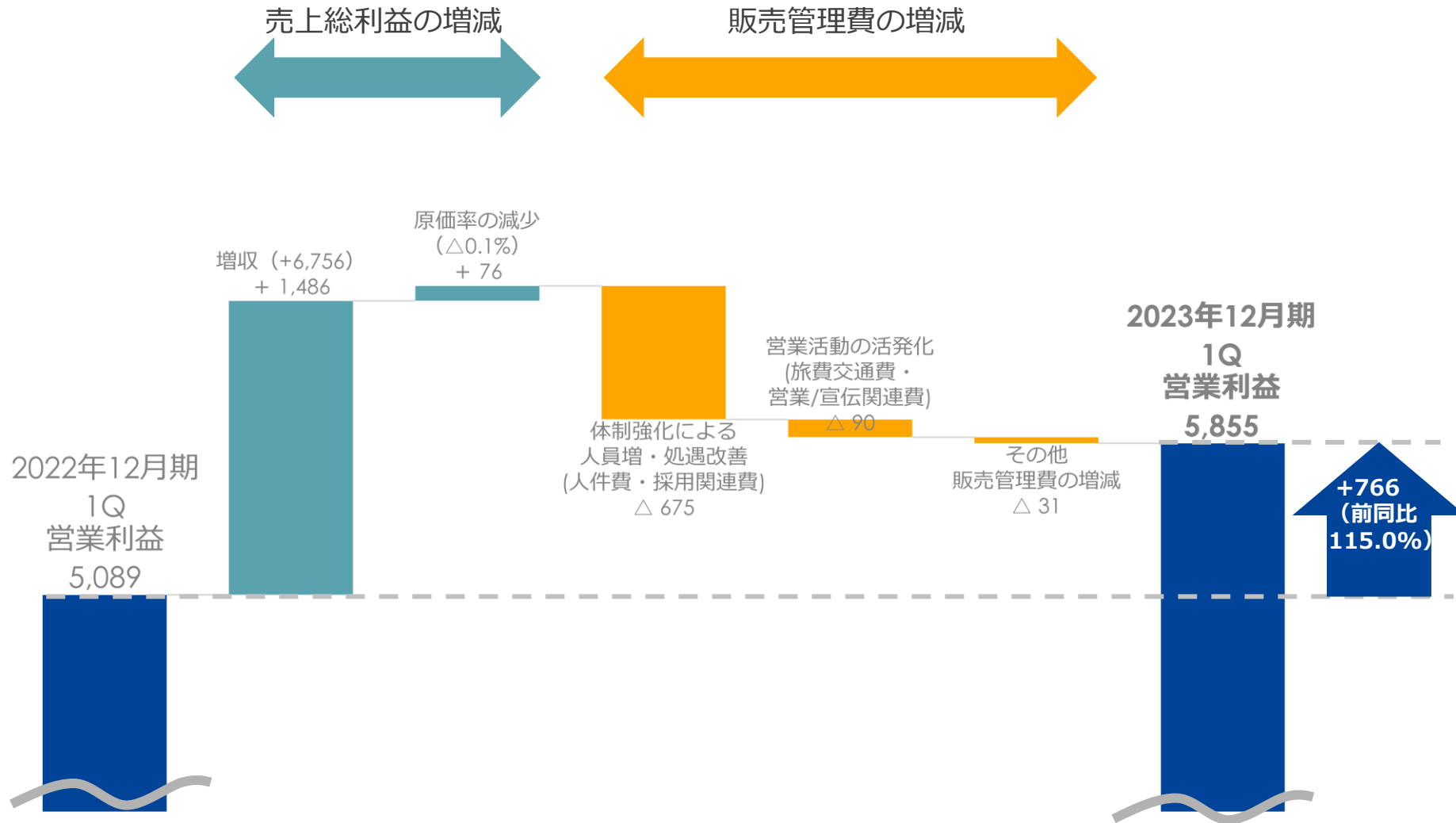
◇経常利益は増収により、前同比111.1%の6,050百万円となりました。

◇親会社株主に帰属する四半期純利益は、有形固定資産売却により前同比112.9%の3,768百万円となりました。

(単位：百万円)

	2022年12月期	2023年12月期	前同差	前同比	2023年12月期	
	1Q実績	1Q実績			1Q計画	計画比
売上高	68,874	75,631	+6,756	109.8%	73,700	102.6%
営業利益	5,089	5,855	+766	115.0%	5,200	112.6%
営業利益率	7.4%	7.7%			7.1%	
経常利益	5,446	6,050	+603	111.1%	5,300	114.2%
経常利益率	7.9%	8.0%			7.2%	
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,337	3,768	+431	112.9%	3,400	110.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益率	4.8%	5.0%			4.6%	

# 連結営業利益の状況 (1-3月)





## 2.主なグループ会社売上高・営業利益

(単位:百万円)

	2023年 12月期	売上高	営業利益	
富士ソフト	1Q実績	52,755	4,167	売上高は、業務系では製造業・金融業を中心に各分野向けの基幹系・インフラ構築案件等が好調、組込系では自動車関連の先進分野および、機械制御系の産業・家電分野向け開発案件が好調に推移し増収となりました。 営業利益は、増収および生産性の改善により増益となりました。
	前同差	+4,841	+1,113	
	前同比	110.1%	136.5%	
サイバネットシステム	1Q実績	4,895	300	売上高は、シミュレーションソリューションサービス事業の海外事業及びITソリューションサービス事業が好調に推移したことなどにより、増収となりました。 営業利益は、人的資本投資に伴う人件費や募集採用費の増加、営業活動量の増加に伴う旅費交通費、販売支援活動費の増加などにより、減益となりました。
	前同差	+258	△ 171	
	前同比	105.6%	63.7%	
ヴィンクス	1Q実績	8,540	957	売上高は、国内小売業におけるDXのニーズの高まりと、既存顧客への更なる深耕が奏功したことなどにより増収となりました。 営業利益は、増収により増益となりました。
	前同差	+621	+114	
	前同比	107.8%	113.6%	
サイバーコム	1Q実績	4,284	507	売上高は、ソフトウェア開発事業における制御・業務系開発案件が好調に推移し、増収となりました。 営業利益については増収により増益となりました。
	前同差	+128	+59	
	前同比	103.1%	113.2%	
富士ソフト サービスビューロ	1Q実績	3,268	228	売上高は、コールセンターサービス、BPOサービスともに前年度に開始した年金関連業務が大きく寄与し、増収となりました。 営業利益は、期間限定の好採算案件の縮小により、減益となりました。
	前同差	+384	△ 64	
	前同比	113.3%	78.0%	

※「2023年12月期1Q実績」欄には、各社2023年1～3月の実績を記載しています。



### 3.連結セグメント別売上高・営業利益

(単位：百万円)

	2023年12月期売上高		前同差	前同比	2023年12月期営業利益		前同差	前同比
	1Q実績	構成比			1Q実績	営業利益率		
全社計	75,631	100.0%	+6,756	109.8%	5,855	7.7%	+766	115.0%
SI事業	71,104	94.0%	+6,177	109.5%	5,379	7.6%	+767	116.6%
システム構築	44,875	59.3%	+4,353	110.7%	3,767	8.4%	+726	123.9%
組込系／制御系ソフトウェア	19,597	25.9%	+1,361	107.5%	1,894	9.7%	+125	107.1%
業務系ソフトウェア	25,278	33.4%	+2,991	113.4%	1,872	7.4%	+600	147.2%
プロダクト・サービス	26,228	34.7%	+1,823	107.5%	1,612	6.1%	+40	102.6%
プロダクト・サービス	22,648	29.9%	+1,915	109.2%	1,379	6.1%	+70	105.4%
アウトソーシング	3,579	4.7%	△ 91	97.5%	232	6.5%	△ 29	88.6%
ファシリティ事業	750	1.0%	+43	106.1%	223	29.8%	+53	131.6%
その他事業	3,776	5.0%	+535	116.5%	252	6.7%	△ 54	82.2%

#### セグメント別売上高のポイント

##### ●組込系／制御系ソフトウェア

売上高は、自動車関連において先進分野、機械制御系において産業・家電分野向け開発案件が好調に推移したことにより、前同比107.5%となりました。  
営業利益は、増収により前同比107.1%となりました。

##### ●業務系ソフトウェア

売上高は、製造業・金融業を中心に各分野向けの基幹系・インフラ構築案件が好調に推移し、前同比113.4%となりました。  
営業利益は、増収および生産性の改善や、不採算案件の抑制などにより前同比147.2%となりました。

##### ●プロダクト・サービス

売上高は、他社ライセンス販売および、ハードウェア製品販売が堅調に推移したことにより前同比109.2%となりました。  
営業利益は、増収により前同比 105.4%となりました。

##### ●アウトソーシング

売上高は、運用保守案件は堅調に推移したものの、海外小売業向けITサービスの減少により、前同比97.5%となりました。  
営業利益は、減収およびデータセンターにおける電力価格高騰の影響により前同比88.6%となりました。



## 4.連結損益計算書

(単位：百万円)

### 損益計算書のポイント

#### ① 特別利益 (+398百万円)

有形固定資産の売却による増加

	2022年12月期	2023年12月期	前同差	前同比	2023年12月期	
	1Q実績	1Q実績			1Q計画	計画比
売上高	68,874	75,631	+6,756	109.8%	73,700	102.6%
売上原価	53,725	58,919	+5,193	109.7%	-	-
売上原価率	78.0%	77.9%				
売上総利益	15,148	16,711	+1,562	110.3%	-	-
売上総利益率	22.0%	22.1%				
販売費及び一般管理費	10,058	10,855	+796	107.9%	-	-
販管費率	14.6%	14.4%				
営業利益	5,089	5,855	+766	115.0%	5,200	112.6%
営業利益率	7.4%	7.7%			7.1%	
営業外収益	362	244	△ 117	67.5%	-	-
営業外費用	18	45	+26	246.7%	-	-
持分法による投資損益	12	△ 5	△ 17	-	-	-
経常利益	5,446	6,050	+603	111.1%	5,300	114.2%
経常利益率	7.9%	8.0%			7.2%	
特別利益	-	398	① +398	-	-	-
特別損失	69	106	+36	152.7%	-	-
税金等調整前四半期純利益	5,376	6,342	+965	118.0%	-	-
法人税等合計	1,427	1,994	+567	139.7%	-	-
四半期純利益	3,949	4,347	+398	110.1%	-	-
非支配株主に帰属する四半期純利益	612	579	△ 32	94.6%	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,337	3,768	+431	112.9%	3,400	110.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益率	4.8%	5.0%			4.6%	



## 5.連結貸借対照表

	2022年12月期 期末	2023年12月期 1Q	前期末差
<b>流動資産</b>	112,730	114,631	+ 1,900
現金及び預金	32,736	31,624	△ 1,112
受取手形及び売掛金	56,634	61,741	+ 5,106
有価証券	8,500	8,000	△ 500
たな卸資産	5,552	4,215	△ 1,336
その他	9,307	9,050	△ 256
<b>固定資産</b>	128,104	128,260	+ 155
有形固定資産	99,160	99,258	+ 97
無形固定資産	5,426	5,298	△ 127
投資その他の資産	23,518	23,703	+ 184
<b>資産合計</b>	240,835	242,891	+ 2,056
<b>流動負債</b>	71,945	72,273	+ 328
支払手形及び買掛金	14,083	14,947	+ 863
短期借入金	17,855	15,322	△ 2,533
未払費用・賞与引当金	12,974	15,147	+ 2,173
未払法人税等	2,828	2,881	+ 53
工事損失引当金	421	466	+ 45
その他	23,782	18,507	△ 5,275
<b>固定負債</b>	16,145	16,013	△ 132
長期借入金	8,783	8,672	△ 110
その他	7,362	7,340	△ 21
<b>負債合計</b>	88,091	88,287	+ 196
<b>純資産合計</b>	152,744	154,604	+ 1,860
<b>負債純資産合計</b>	240,835	242,891	+ 2,056

### 貸借対照表のポイント

時節要因による変動はあるものの特記事項は無し



## 6.連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2022年12月期 1Q実績	2023年12月期 1Q実績	前同差
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,758	△ 118	+1,640
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,637	△ 2,467	+169
財務活動によるキャッシュ・フロー	174	△ 387	△ 562
現金及び現金同等物に係る換算差額	366	40	
現金及び現金同等物の増減額	△ 3,854	△ 2,933	
現金及び現金同等物の期首残高	40,876	33,086	
現金及び現金同等物の四半期末残高	37,021	30,153	

### キャッシュ・フローのポイント

#### ●営業活動によるキャッシュ・フロー

当期は増収・増益による入金増加があったものの、法人税等の支払により、118百万円の支出となりました。  
なお、前期に有価証券売却に伴う法人税等の支払増加があったことなどにより、前同差は1,640百万円の増加となりました。

#### ●投資活動によるキャッシュ・フロー

当期は有形固定資産売却による入金があったものの、予てより計画していた自社オフィスの建設費用やグループ会社における有価証券取得により、2,467百万円の支出となりました。  
なお、前同差は169百万円の増加となりました。

#### ●財務活動によるキャッシュ・フロー

当期は配当金の支払い増加などにより、387百万円の支出となりました。  
なお、前同差は562百万円の減少となりました。

## 7.連結S I 事業の受注高・受注残高

(単位：百万円)

	2023年12月期 1Q実績							
	期首受注残高	前同比	受注高	前同比	売上高	前同比	期末受注残高	前同比
SI事業 合計	72,963	125.1%	73,761	108.1%	71,104	109.5%	75,621	116.8%
システム構築	46,427	121.3%	44,811	109.2%	44,875	110.7%	46,362	119.6%
組込系／制御系ソフトウェア	14,884	110.2%	20,423	111.4%	19,597	107.5%	15,710	115.6%
業務系ソフトウェア	31,542	127.4%	24,388	107.4%	25,278	113.4%	30,651	121.7%
プロダクト・サービス	26,536	132.3%	28,950	106.5%	26,228	107.5%	29,258	112.6%
プロダクト・サービス	24,717	135.7%	25,021	107.8%	22,648	109.2%	27,091	113.6%
アウトソーシング	1,818	98.2%	3,928	98.9%	3,579	97.5%	2,167	100.6%

### 受注高・受注残高のポイント

#### ● システム構築分野のポイント

##### ・ 組込系/制御系ソフトウェア

受注は、機械制御系および自動車関連向けが増加したことなどにより、前同比111.4%となりました。  
また、期末受注残高は前同比115.6%となりました。

##### ・ 業務系ソフトウェア

受注は、製造業や流通・サービス、金融業向けの開発案件が増加したことにより、前同比107.4%となりました。  
また、期末受注残高は前同比121.7%となりました。

#### ● プロダクト・サービス分野のポイント

##### ・ プロダクト・サービス

受注は、子会社におけるPOS関連の自社プロダクトが好調に推移したことなどにより、前同比107.8%となりました。  
また、期末受注残高は前同比113.6%となりました。

##### ・ アウトソーシング

受注は、海外小売業向けITサービスの受注が減少したことにより、前同比98.9%となりました。  
また、期末受注残高は前同比100.6%となりました。



※ 本資料に掲載されている業績の見通し等将来に関する情報は、現在入手可能な情報に基づいて合理的と判断したものです。実際の業績は市場動向、経済情勢など様々な要因の変化により大きく異なる可能性があります。

また、資料配布の目的が、当社株式の保有継続および追加購入を推奨するものではないことも、併せてご理解いただきますようお願い申し上げます。